

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No.12-006
 担当 渋谷
 内線等 327

PDCA	事務事業名	半田市観光協会支援事業	部課等名	市民経済部 観光課 観光担当			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 1. 観光 単位施策： (2) 観光振興のための連携強化 個別施策： ②各種団体との連携強化					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	観光客の対応や観光イベントの企画・運営等、魅力ある観光地づくりの中心的存在である半田市観光協会の活動を支援するため、同協会の事業費等を補助することで、半田市観光の魅力向上とおもてなし体制の充実を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・半田市観光協会事業費等への補助金交付 ・半田市観光協会主催イベント等への運営支援					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①アイプラザ半田案内所利用実績	48,754	60,906	31,029	人	
		②駅前案内所利用実績	15,807	15,764	15,712	人	
		③半田市観光協会ホームページの訪問回数	380,247	452,497	619,715	回	
		事業費	12,749	12,850	12,901	千円	
		人件費	317	312	311	千円	
		総事業費	13,066	13,162	13,212	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①市内観光案内所利用者一人当たりの事業費	202	172	283	円/人		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①年間観光入込客数	実績値	1,625	1,681	1,669	千人
			目標値	1,600	1,630	1,700	
		実績値					
		目標値					
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない				
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 —				
事業の評価・課題	B 令和元年度はインターネットによる情報発信に注力し、積極的に市内の観光施設・イベント・飲食店等の情報をSNS・ホームページにおいて発信することで、観光客誘客に寄与した。アイプラザ半田観光案内所は令和元年8月から令和2年3月までアイプラザ半田が大規模改修により閉鎖していたため、観光案内所の利用者数は対前年度比で半減した。クラシティ内の知多半田駅前案内所は前年度と同程度の利用者数があり、観光客への案内やおもてなしに対応することができた。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 令和2年度は元年度以上に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光客の来訪は減少すると推測される。感染症が収束するまでの間、SNS・ホームページ等のインターネットを活用し、半田市の魅力の情報発信を強化することで、収束後の半田市への来訪につながる取り組みをしていく。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①年間観光客数(新型コロナウイルスの影響がない場合)	1730	千人			